

## 災害廃棄物広域処理量の推計

項目	岩手県	宮城県	計
災害がれき発生量(A)	477万トン	1,573万トン	2,050万トン
処理必要量(B) (仙台市を除く)	182.6万トン (可燃物 132.1万トン) (その他 50.6万トン) (可燃物割合 72%)	848.2万トン (可燃物 440.6万トン) (その他 407.6万トン) (可燃物割合 52%)	1030.8万トン (可燃物 572.6万トン) (その他 458.2万トン)
【(A)－(B)】 (仙台市分以外はリサイクル?)	294.4万トン	724.8万トン	1019.2万トン
処理済み量(C) (仙台市を除く)	55.9万トン	178.7万トン	234.6万トン
未処理量(D) 【(B)－(C)】	126.7万トン	669.5万トン	796.2万トン
未処理の可燃物推計量(E) 【(D)×可燃物割合】	91.2万トン	348.1万トン	439.3万トン
地元焼却処理能力 (仙台市を除く)	既存 1,078トン/日 仮設 (2基) 195トン/日 計 1,273トン/日	仮設 (24年6月～) (19基) 3,030トン/日 仮設 (24年10月～) (3基) 285トン/日 仮設 (25年1月～) (4基) 700トン/日 計 4,015トン/日	
26年3月までの地元焼却見込 (F)	1,273トン/日×660日 (22ヶ月) 84.0万トン	3,030トン/日×660日(22ヶ月) 285トン/日×540日(18ヶ月) 700トン/日×450日(15ヶ月) 仙台市受入10万トン 256.9万トン	340.9万トン
26年3月末時点の地元未焼却量 【(E)－(F)】	7.2万トン	91.2万トン	98.4万トン
26年4月以降の要焼却日数	72,000トン÷1,273トン/日 56.6日	912,000トン÷4,495トン/日 (仙台市仮設3基480トン/日 を加え、29基4,495トン/日 で処理を行うとして) 202.9日	

- ◆ 広域処理を行わなくとも、岩手県は26年3月から2ヶ月弱、宮城県は7ヶ月弱で焼却処理を終わるのではないかと推計されている。
- ◆ 4月17日付け環境省資料によれば、すでに162万トンの広域処理が現実のものとなりつつあるとのことだが、これは、26年3月末地元未焼却量の推計98.4万トンを上回っており、これ以上の広域処理は不要なのではないかと推計されている。

○ 推計に用いたデータの出典

- ・災害廃棄物の広域処理の必要性及び放射能対策に関する質問に対する回答について  
(平成24年5月10日付け環廃対発第120510001号)
- ・環境省ホームページ広域処理情報サイト
- ・平成24年5月8日仙台市発表資料「仙台市域外からの震災廃棄物の受け入れを開始します」